

(調査様式 1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年9月6日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103300
法人名	有限会社 ピースアンドハーモニー
事業所名	グループホーム ローズガーデン（3F）
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田二丁目34番15号 (電話) 099-213-0033
自己評価作成日	平成23年9月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://kaken-shakyo.jp/kohyo>

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年9月30日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「地域貢献」の基本理念のもと、地域の方に認知症をより正しく、より深く理解して頂く様に施設の持っている情報を積極的に発信していると思う。今後も更に努めていきたいと思う。  
また「ケア」についてはICFの視点に基づき、チームが一つになり個々の「出来る事」「出来ない事」をきちんと理解し、「予防」と「チームケア」を念頭に、利用者に関わる事に努めている。  
スタッフ個々のレベルアップを目指し、楽しい楽な介護を目指しスタッフの安定した就業場所にもなる様努めている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者と地域の関係を思い、スタッフで作った理念である。毎朝スタッフ全員で唱和し、その理念を念頭にケアにあたる様にしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事（十五夜、校区運動会、すこやか祭り、避難訓練等）に参加している。また、地域の方々もボランティアで、ひな人形作りなどに来てもらったりしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症をより深く正しく理解して頂く様、地域の集会等で認知症に関する勉強会をさせてもらっている。また、施設発行の新聞にも認知症に関する事を記載し地域の方や家族の方に読んでいただける様にしている。	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	苦情や事故などの報告やグループホームでの課題などを報告し実情を理解して頂くと共に意見を頂き、サービスの向上と充実に活かせる様にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険法に関するアドバイスを仰いだり、介護相談員の受け入れ等を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしない事を基本とし繰り返し勉強会などで取り上げ理解している。しかし、1階の施錠については立地条件の基、ご家族は良く理解され、利用者は安心していると思う。		
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待については勉強会等で理解を深める様にしている。また、虐待に繋がるスタッフの認知症の理解と過度なストレスに注意し、配慮している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	学んではいるが、実際に利用されている方はいない。 利用者の方には必ず身元保証人を立てもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	解り易い言葉や具体的な事例をあげて説明している。普段から不安や疑問など話し易い関係を作る様努め、説明の際、理解納得をして頂いている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱の設置や家族へのアンケート、家族会等で意見を出して頂き、運営に活かす様にしている。また、家族の面会時には利用者の状態を報告し、家族の要望や意見などを聞く様にしている。			
11 7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議等で提案や意見を出してもらい、運営に反映する様にしている。また、スタッフがもっと自由に意見を出せる雰囲気作りに努めている。			
12	○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者はスタッフに声かけする様に努め、待遇を含め環境整備に努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	多くの職員が外部、内部研修に参加出来る様に計画を立てており、参加後は研修報告を必ず行っている。また、内部研修には必ず代表者も参加している。			
14	○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は、グループホーム協議会での交流、勉強会へ参加する事を理解している。同業者との交流を行う事で情報交換を行いサービスの向上に努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	利用開始の前に必ず本人に面会し、状態や本人の抱えている不安や希望を把握する様に努めている。サービス開始後も繰り返し聞いて本人の安心になる様に努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	利用を開始する前に必ず面会し本人とは違う希望や不安を受け入れ理解し、互いに信頼関係が深まる様に努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	十分なアセスメントを基に必要な支援を見極め、行なう様に努めている。また他のサービス利用が必要な場合は対応を検討し行ったりしている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	家事など出来る事を一緒にを行いコミュニケーションを取りながら生活している。スタッフも利用者から学ぶ事も多く、スタッフは時に家族になったり、知人になったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や行事の参加を通して一緒に時間を共有して頂ける機会を設けている。思いもそれぞれなので、家族の出来る範囲で本人を支えて頂き、押し付けにならない様に気を付けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	スタッフだけでなくご家族の協力も頂き、外出の機会を設け、よく利用されていた店や町を散歩するなど見慣れた環境に触れる事が出来る様努めている。また昔から付き合いのある友人や職場の同僚の訪問も歓迎している。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を十分に把握した上で席などに配慮し、またスタッフが間に入ってフォローしながら共通の話題などで皆で過ごせる様努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談があればいつでも受けている。医療、福祉機関の紹介も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の関わりや会話の中から本人の思いや希望をくみ取り、スタッフ全員が情報として共有し出来る事から実現する様にしている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>資料を通してこれまでの状態を知るだけでなく、ご本人やご家族からも情報を得る様にしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>スタッフ間で個々の状態を確認し失病については主治医に相談して把握に努めている。また、施設の生活パターンに当てはめるのではなく、個々の気持ちやその日の状態に合わせて過ごせる様努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族、スタッフの意見や要望を聞き入れ、現状を把握したうえで介護計画を作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送り時やカンファレンス時にスタッフ全員で個々の状況を話し合い、ケアの見直しや実践を行っている。また介護計画に基づく記録の書き方も実践しており、項目毎に見る事ができ、見直しに役立てている。			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が忙しい時は諸手続き等を代行する事がある。ご本人またはご家族の要望に応じて病院受診等を行っている。また本人の希望を受け入れ、お盆や年末年始などの自宅訪問、外出への支援を行っている。			
29	○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるように支援している	利用者が安全に暮らせる様、地域の方々や消防署の方に協力して頂き、避難訓練を行っている。また、施設外での楽しみも増える様、地域の行事にも利用者と一緒に参加する様努めている。			
30 11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望とする病院を受診して頂いたり、失病の内容によっては主治医の方から専門の病院を紹介して頂いている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中で得た情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	主治医や担当看護師の月2回の往診時には必ず利用者の状態変化など詳しく報告し、それ以外でも状態が変わった時は随時報告、相談、状態に応じて受診等を行っている。また、定期的な検査も実施して頂いている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中も主治医や病棟の看護師と連絡、相談し、一日でも早く退院出来る様にしている。またスタッフも交代で面会に行ったりし、ご本人に安心して頂ける様に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	契約時に施設側の方針と重度化への説明をしている。また、面会時や毎月のおたより等で今後起こりうるリスク等もお伝えしている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変や事故発生時の研修は実技も交え定期的に行っている。また、カンファレンス時や申し込み時に個々の状態を把握し、事故防止に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の火災訓練を行っておりそのうち1回は消防署の方にも指導を頂いている。勉強会等でスタッフは繰り返し避難方法をシミュレーションしており、また避難方法や手順を書いたマニュアルをいつでもすぐに見れるよう掲示してある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室で休む時間や一人での時間を作れる様にしている。更衣等は他人から見えない様に居室などでする様にし、声掛けにも気を付けています。	
		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話で希望を聞き入ったり、家族からの情報も参考にしながら本人のしたい事を選べる様、声掛けしている。	
37		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事や1日の大まかな流れは決まっているが、利用者一人一人のペースで過ごして頂ける様に支援している。	
38		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴の準備や着替え等は利用者と一緒に選ぶようにしている。本人の愛用している化粧品等があれば、施設でも使用して頂いている。	
39		○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食材切や盛り付け、配膳、片付けなど、一人一人出来る事を一緒に行い、達成感や満足感を感じて頂きながら、食事も楽しんで頂ける様に支援している。	
40	15			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
	41	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮しながら献立を立てており、個々の状態に合わせた食事量、食事形態でお出ししている。また、水分量や食事量のチェックを行っており十分な栄養や水分が摂取出来る様に気を付けている。		
	42	○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを徹底して行っている。本人に磨いて頂いた後、個々の口腔状態に合わせてチェックや仕上げを行い、清潔保持に努めています。		
	43 16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用しながら一人一人の排泄パターンを把握し、失敗を防げるよう声かけしたりしている。また、立位がとれない方もトイレで気持ち良く排泄出来る様、定時誘導し、スタッフ2名で介助している。		
	44	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含む食材を取り入れた食事作りや、便通を促す牛乳やヨーグルト、ヤクルトを摂って頂き、適度な運動をして便秘にならない様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回は実施しており、時間帯については利用者の希望や体調に合わせて臨機応変に行っている。また、安全面や体調に気を付けながら、ゆっくりと入浴して頂ける様な声かけを行っている。		
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者からの希望があったり、本人の状態に応じて休息の時間を作っている。また利用者が安心して気持ちよく眠れる様、音や明るさにも気を付けている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の服用薬を理解しており、状態変化時は主治医に報告相談し、本人に一番合った薬を服用出来る様努めている。また、利用者が不安にならない様薬の変更時は薬の説明を行ったりしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の特技や趣味を活かし裁縫、カラオケなど好きな事に力を発揮し、張り合いや喜びを感じられる様支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望に沿って、散歩や買い物に出掛けられる様心がけておりまた、ご家族とも相談しながら墓参りや外食等に出掛けられる様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
	50	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を持したり使えるように支援している	お金の所持はして頂いていないが、必要な物や欲しい物があれば一緒に買い物に行き、自分で選んで買う事で購入する喜びを感じて頂ける様支援している。		
	51	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望があればこちらから電話をかけて頂き、また贈り物が届いた時も電話をかけて話をして頂いている。毎月のおたよりにも本人の字で一言でも書く様すすめたりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が季節を感じながら快適に過ごせる様に季節の壁紙や花を飾ったりしている。また気持ちよく過ごせる様、こまめに空気の入れ替えをしたり、明るさや室温にも気を付けている。		
	53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファーがあったり畳のスペースがあり、思い思いにゆっくりと過ごせる空間作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	実際に自宅で使用していた家具や本人好みの物を持ち込んで頂き、安心して過ごせる様にしている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	手すりの設置や居室にある物の設置場所を工夫したりし、自分の出来る事はして頂きながら、怪我の無い様、常に声かけや見守り、介助を行っている。		

## V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
			2 数日に 1 回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 大いに増えている
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	○	2 少しずつ増えている
			3 あまりえていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどない